

青森県八戸市

1. 本地域の紹介

本地域の環境	農村、漁村	「子供の農山漁村体験交流計画」の有無	無
アクセス	□電車の場合：JR東京駅～JR八戸駅 3時間(新幹線利用)		
本地域の概況	□青森県の南東部に位置し、太平洋に面している。 □全国屈指の水揚げ量を誇る八戸港を擁する水産都市であり、北東北随一の工業都市でもあることから、県南地方の中心都市となっている。 □人口約22万5千人(令和2年12月末現在) □県南地方の8市町村で八戸圏域連携中枢都市圏を形成しており、そのうちの6市町で三八地方農業観光振興協議会を組織(会長：南部町長)し、農業体験修学旅行の受入を実施している。		



2. 令和元年度における「子供農山漁村体験交流」の受入実績

①学校教育による受入校数						②社会教育による受入件数	③自治体連携による交流先
小学校	0校	中学校	4校	高等学校	2校	0件	無

※③：2つの自治体間で「子供農山漁村体験交流に取り組むこと」を合意し、「送り手側と受入側の役割」を分担して実施した取組

3. 本地域で提供できる体験・交流メニューの紹介

メニュー1：農業体験宿泊学習(例1：リンゴ)

体験の分類	農業		
実施概要	農家宅に宿泊し農作業を体験する、食事を共同で調理する取組で、受入農家の中にはリンゴの作業を行うところもあります。		
対象学年	中学生・高校生		
実施環境	屋外・屋内の双方	時期	4月下旬～11月下旬
所要時間	2泊	最大受入可能人数(人)	1回当たり 10人
最低価格	13,500円(税込)/1名 泊数は応相談、泊数に応じて価格も変動		



メニュー2：農業体験宿泊学習(例2：水稲)

体験の分類	農業		
実施概要	農家宅に宿泊し農作業を体験する、食事を共同で調理する取組で、受入農家の中には水稲の作業を行うところもあります。		
対象学年	中学生・高校生		
実施環境	屋外・屋内の双方	時期	4月下旬～11月下旬
所要時間	2泊	最大受入可能人数(人)	1回当たり 10人
最低価格	13,500円(税込)/1名 泊数は応相談、泊数に応じて価格も変動		



その他の交流・体験のメニューの紹介

屋外で実施するメニュー	
屋内で実施するメニュー	
屋内・屋外で双方で実施できるメニュー	
体験・交流メニューの紹介サイトのURL	
モデルプランの紹介サイトのURL	

4. 本地域における「子供農山漁村体験交流」の受入体制

(1)受入対象

教育種別	学校教育	学年別	中学生・高校生
------	------	-----	---------

(2)受入可能な期間

日帰り	要相談	1泊2日	可	2泊3日	可	3泊4日	不可	4泊5日以上	不可
-----	-----	------	---	------	---	------	----	--------	----

(3)手配できる交流先の候補

受入時のスタッフ	不可	ホームステイ先	可	地域内の小学校	不可	地域内の中学校	不可
地域内の高等学校	不可	その他					

(4)1回当たりの宿泊定員(人)

ホームステイ(受入家庭先への分泊)	本地域のみで受け入れる場合 10人
集団宿泊	0人
キャンプ場・コテージ等	0人

(5)安全面と事前交流・事後交流の対応

①「地域内での緊急連絡体制(医療機関、消防署、警察、行政等)」の整備	整備済
②「本地域・近隣地域にある24時間診療可能な医療機関との連携体制」の整備	整備済
③「受入関係者向けの安全管理基準(ガイドライン、マニュアル等)」の策定	整備済
④「感染症拡大予防ガイドライン・マニュアル等」の策定	整備済
⑤「アレルギー・障がい等を抱える子供への配慮」の対応	可
⑥受入窓口による「体験・交流中の傷病・事故・災害等発生時の連絡・調整」の対応	可
⑦「対面・オンラインによる地域人材との事前・事後交流、講義等」の実施	不可

5. 本地域での「子供農山漁村体験交流」に係るお問い合わせ先

子供農山漁村体験交流の受入窓口	南の郷ツーリズム協議会		部署名	事務局
	団体構成	会長 1名 会員 3名 事務局員 1名(会員農家の家族)		
	TEL	0178-83-2262	E-MAIL	
	住所	〒031-0202 青森県八戸市大字島守字熊堂82-3		
	URL			
自治体の担当部署	部署名	農林水産部 農業経営振興センター	E-MAIL	nokei@city.hachinohe.lg.jp
	TEL	0178-27-9163	URL	http://www.city.hachinohe.aomori.jp